

認定書

国住指第 4103 号
平成 26 年 3 月 14 日

旭化成建材株式会社
代表取締役 前田 富弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-3180
2. 認定をした構造方法等の名称
フェノールフォーム保温板充てん／窯業系サイディング・木質系ボード表張
／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

フェノールフォーム保温板充てん／窯業系サイディング・木質系ボード表張／せっこうボード裏張
／木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請仕様
壁高	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	135以上
壁の構造	真壁又は大壁

3. 材料構成

(1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請仕様
柱(荷重支持部材)	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・寸法：105×105の断面寸法以上 ・間隔：4000以下 ・比重：0.37(±0.04)以上

つづく

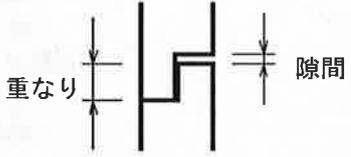
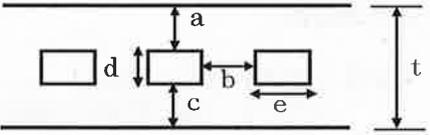
(別添-1)

つづき

項 目	申 請 仕 様															
外装材	<p>[1]基材</p> <p>窯業系サイディング（以下「サイディング」という。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 5422 ・組成(質量%)： <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;">けい酸カルシウム化合物</td> <td style="padding-left: 20px;">65～86</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質繊維</td> <td>1～13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質繊維</td> <td>0～4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質混和材</td> <td>14 未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質混和材</td> <td>27 未満</td> </tr> </table> <p>ただし、有機質繊維と有機質混和材の合計が 18 質量%を超えないこと。</p> <p>※サイディングに使用されている繊維質原料と混和材の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ●繊維質原料 <ul style="list-style-type: none"> ・有機質：セルロース繊維、ポリビニルアルコール繊維、ポリプロピレン繊維等 ・無機質：ガラス繊維、ロックウール繊維等 ●混和材 <ul style="list-style-type: none"> ・有機質：リグニン、メチルセルロース、撥水剤等 ・無機質：パーライト、炭酸カルシウム、マイカ等 <p>[2]表面塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様 (1) アクリルウレタン樹脂系塗装 (2) アクリル樹脂系塗装 (3) アクリルシリコーン樹脂系塗装 (4) フッ素樹脂系塗装 (5) エポキシ樹脂系塗装 (6) 無機質系塗装 ・塗布量：200g/m²以下（有機固形分） <p>[3]かさ比重</p> <p>1.1(±0.2) （絶乾）</p>	{	けい酸カルシウム化合物	65～86		有機質繊維	1～13		無機質繊維	0～4		有機質混和材	14 未満		無機質混和材	27 未満
{	けい酸カルシウム化合物	65～86														
	有機質繊維	1～13														
	無機質繊維	0～4														
	有機質混和材	14 未満														
	無機質混和材	27 未満														

つづく

つづき

項目	申請仕様																																								
外装材 (つづき)	<p>[4]形状</p> <p>(1)寸法</p> <table border="1" data-bbox="475 331 1374 450"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚さ</th> <th colspan="2">幅</th> <th colspan="2">長さ</th> </tr> <tr> <th>最小</th> <th>最大</th> <th>最小</th> <th>最大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~26</td> <td>303</td> <td>455</td> <td>910</td> <td>3640</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)端部形状 サイディング相互の重なりと隙間</p> <table border="1" data-bbox="475 555 1034 636"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>重なり</th> <th>隙間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~26</td> <td>6以上</td> <td>3以下</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(3)断面形状</p> <table border="1" data-bbox="475 734 1417 958"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>模様深さ</th> <th>容積欠損率 (%)</th> <th>※中空率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~26</td> <td>最小厚さ 11以上を 確保</td> <td>11以下 (ただし、板厚15 を超える場合は裏面から 15の位置での欠損率とす る。)</td> <td>34以下 (ただし、板厚18を を超える場合は厚さを増した分 だけ、dの中空部の高さを増 し中空率をあげることができ る。)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中空の形状</p>  <table border="1" data-bbox="497 1216 1417 1294"> <thead> <tr> <th>厚さ t</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18以上</td> <td>5以上</td> <td>3.5以上</td> <td>4以上</td> <td>9以下</td> <td>t以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、厚さ 18 を超える場合、厚さを増した分だけ d の長さを増すことができる。</p> <p>[5]張方 横張</p> <p>[6]留め方 金具留め (外装材留金具による)</p>	厚さ	幅		長さ		最小	最大	最小	最大	15~26	303	455	910	3640	厚さ	重なり	隙間	15~26	6以上	3以下	厚さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)	15~26	最小厚さ 11以上を 確保	11以下 (ただし、板厚15 を超える場合は裏面から 15の位置での欠損率とす る。)	34以下 (ただし、板厚18を を超える場合は厚さを増した分 だけ、dの中空部の高さを増 し中空率をあげることができ る。)	厚さ t	a	b	c	d	e	18以上	5以上	3.5以上	4以上	9以下	t以下
厚さ	幅		長さ																																						
	最小	最大	最小	最大																																					
15~26	303	455	910	3640																																					
厚さ	重なり	隙間																																							
15~26	6以上	3以下																																							
厚さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)																																						
15~26	最小厚さ 11以上を 確保	11以下 (ただし、板厚15 を超える場合は裏面から 15の位置での欠損率とす る。)	34以下 (ただし、板厚18を を超える場合は厚さを増した分 だけ、dの中空部の高さを増 し中空率をあげることができ る。)																																						
厚さ t	a	b	c	d	e																																				
18以上	5以上	3.5以上	4以上	9以下	t以下																																				

つづく

つづき

項目	申請仕様
構造用面材	<p>材料：木質系ボード (1)～(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)構造用合板 ・規格：JAS ・厚さ：9以上</p> <p>(2)構造用パネル ・規格：JAS ・厚さ：9以上</p> <p>(3)製材 ・規格：JAS ・厚さ：9以上</p> <p>(4)パーティクルボード ・規格：JISA 5908 ・厚さ：9以上</p> <p>(5)ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) ・規格：JISA 5905 ・厚さ：9以上 ・密度：0.7(0.07) (g/cm³) 以上</p>
断熱パネル	<p>[1]パネル縦材 材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材</p> <p>・寸法：20×65 の断面寸法以上 (ただし、構造用面材の継ぎ目がくる場合、27×65 の断面寸法以上)</p> <p>・間隔：500 以下</p> <p>[2]パネル縦枠材 材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材</p> <p>・寸法：20×65 の断面寸法以上</p> <p>・間隔：4000 以下</p> <p>[3]パネル横枠材 材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材</p> <p>・寸法：20×65 の断面寸法以上</p> <p>・間隔：4000 以下</p>

つづく

つづき

項目	申請仕様
断熱パネル (つづき)	<p>[4]パネル充てん用断熱材 材料：フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 9511 ・形状：平板 ・厚さ：25(±2)以上(ただし、柱断面寸法以下) ・密度(基材)：24(±3)～45(±5) kg/m³ ・面材：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様 <ul style="list-style-type: none"> (1)ポリエステル系不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量：10～60g/m² (2)ポリプロピレン系不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量：10～60g/m² (3)ポリエチレン加工紙 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量：10～60g/m² (4)はり合せアルミニウムはく (5)無機系の加工紙(けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムはく・ガラス繊維複合紙) (6)なし <p>[5]パネル縦材・縦枠材・横枠材固定用留付材 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)くぎ <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ2.75以上×L50以上 (2)ビス <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L50以上
内装材	<p>材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 6901 GB-R ・厚さ：9.5以上 <p>(2)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 6901 GB-F ・厚さ：12.5以上 <p>・端部形状：1)～3)のうち、いずれか一仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)スクエア 2)テーパ 3)ベベル

(2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

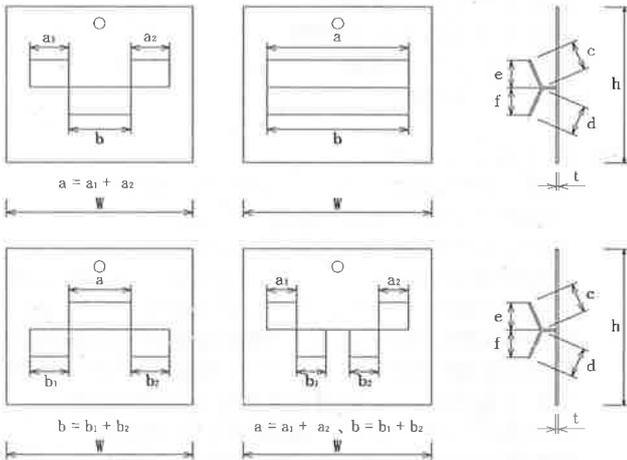
項目	申請仕様
通気胴縁	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材 ・断面寸法：15×30の断面寸法以上 ・間隔：500以下
防水紙	材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様 (1)アスファルトフェルト ・規格：JIS A 6005 ・単位面積質量の呼び：430以下 (2)透湿防水シート ・規格：JIS A 6111 ・厚さ：0.2以下 ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエチレン系 2)ポリエステル系 3)ポリプロピレン系 ・表面アルミニウム蒸着仕上げ：1)又は2)のいずれか一仕様 1)あり 2)なし (3)なし
防湿気密フィルム	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格：JIS A 6930 ・厚さ：0.2以下 (2)包装用ポリエチレンフィルム ・規格：JIS Z 1702 ・厚さ：0.2以下 (3)農業用ポリエチレンフィルム ・規格：JIS K 6781 ・厚さ：0.2以下 (4)なし

つづく

つづき

項目	申請仕様
外装目地材	<p>材料：(1)、(3)、(4)、(1)と(2)の併用、(1)と(3)の併用又は(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～6)のうち、いずれか一仕様 1)ポリウレタン系樹脂 2)アクリルウレタン系樹脂 3)ポリサルファイド系樹脂 4)変成ポリサルファイド系樹脂 5)シリコン系樹脂 6)変成シリコン系樹脂 ・使用量：56g/m 以上 <p>(2)バックアップ材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～5)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエチレン系樹脂 2)ポリスチレン系樹脂 3)ポリウレタン系樹脂 4)ポリプロピレン系樹脂 5)塩化ビニル系樹脂 ・使用量：2g/m 以上 <p>(3)ハット形ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～10)のうち、いずれか一仕様 1)溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) 2)塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) 3)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) 4)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) 5)溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) 6)塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) 7)ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744) 8)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304) 9)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305) 10)溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (指定建築材料国土交通省大臣認定第 MSTL-0064 号, 0065 号 0069 号,0070 号) ・厚さ：0.25 以上 <p>(4)金属ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：(3)の 1)～10)のうちいずれか一仕様 ・形状：ハット形、H 形 ・厚さ：0.25 以上 <p>(5)なし</p>
内装目地材	<p>材料：(1)、(2)又は(2)と(3)の併用のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)せっこうボード用目地処理材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用量：100g/m 以上 <p>(3)ジョイントテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：ガラスファイバーテープ ・寸法：幅 50、厚さ 0.15～0.20

つづく

項目	申請仕様
留付材	<p>[1]外装材留金具</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質：(1)～(10)のうち、いずれか一仕様 <ol style="list-style-type: none"> 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744) 熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304) 冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (指定建築材料国土交通省大臣認定第 MSTL-0064 号,0065 号 0069 号,0070 号) 形状： <div style="text-align: center;">  </div> <p> w : 幅 40 以上 h : 高さ 40 以上 $w + h$: 幅と高さの合計 90 以上 t : 鋼板の厚さ 0.8 以上 a : 上部ツメの幅 15.8 以上 b : 下部ツメの幅 14.0 以上 c : 上部ツメの長さ 4.2 以上 d : 下部ツメの長さ 4.6 以上 e : 上部ツメの掛かり高さ 4.0 以上 f : 下部ツメの掛かり高さ 4.2 以上 上部と下部のツメの総掛かり面積 175mm^2 以上 $[(a \times e) + (b \times f)]$ </p> <ul style="list-style-type: none"> 留付間隔：横方向 500 以下 高さ方向 外装材の幅による <p>[2]外装材留金具固定用</p> <p>材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> スクリークぎ <ul style="list-style-type: none"> 材質：鉄又はステンレス鋼 寸法：$\phi 1.9$ 以上$\times L32$ 以上

つづき

項 目	申 請 仕 様
留付材 (つづき)	<p>(2)リングくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ 1.9 以上×L32 以上 <p>(3)タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ 3.0 以上×L25 以上 <p>・留付間隔：500 以下</p> <p>[3]胴縁固定用（通気胴縁・下地胴縁） 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ 2.45 以上×L45 以上 <p>(2)ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ 3.0 以上×L38 以上 <p>・留付間隔：500 以下</p> <p>[4]パネル枠材固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ 3.05 以上×L65 以上 <p>(2)ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ 3.0 以上×L65 以上 <p>・留付間隔：300 以下</p> <p>[5]内装材固定用 材料：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)せっこうボード用くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 5508 ・寸法：φ 2.34 以上×L31.8 以上 <p>(2)十字穴付木ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS B 1112 ・呼び寸法：φ 3.1 以上×L25 以上 <p>(3)ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS B 1125 ・呼び寸法：φ 3.0 以上×L25 以上 <p>(4)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ 1.9 以上×L32 以上 <p>(5)ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ 3.0 以上×L25 以上 <p>・留付間隔：200 以下</p>

つづく

つづき

項 目	申 請 仕 様
留付材 (つづき)	<p>[6]構造用面材固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ2.15以上×L38以上</p> <p>(2)ビス ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L25以上</p> <p>・留付間隔：500以下</p> <p>[7]断熱材固定用 材料：(1)～(7)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(2) (片面・両面) 粘着テープ ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1)ブチルゴム系 2)EPDM ゴム系 3)アクリル系 4)アスファルト系 5)ポリエチレン系 6)ポリエステル系 7)ポリプロピレン系 ・使用量：200g/m²以下</p> <p>(3)アルミニウムはく付き粘着テープ ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエチレン系 2)ポリエステル系 3)ポリプロピレン系 ・使用量：200g/m²以下</p> <p>(4)スプレーのり ・材質：合成ゴム系樹脂 ・使用量：100g/m²以下</p> <p>(5)接着剤 ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1)エポキシ系樹脂 2)酢酸ビニル系樹脂 3)ゴム系 4)アクリルウレタン系樹脂 5)ポリウレタン系樹脂 6)変成シリコーン系樹脂 7)EVA系樹脂 ・使用量：180g/m²以下</p> <p>(6)ステーブル ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：肩幅9.6以上、足長10以上</p> <p>(7)なし</p>

つづく

つづき

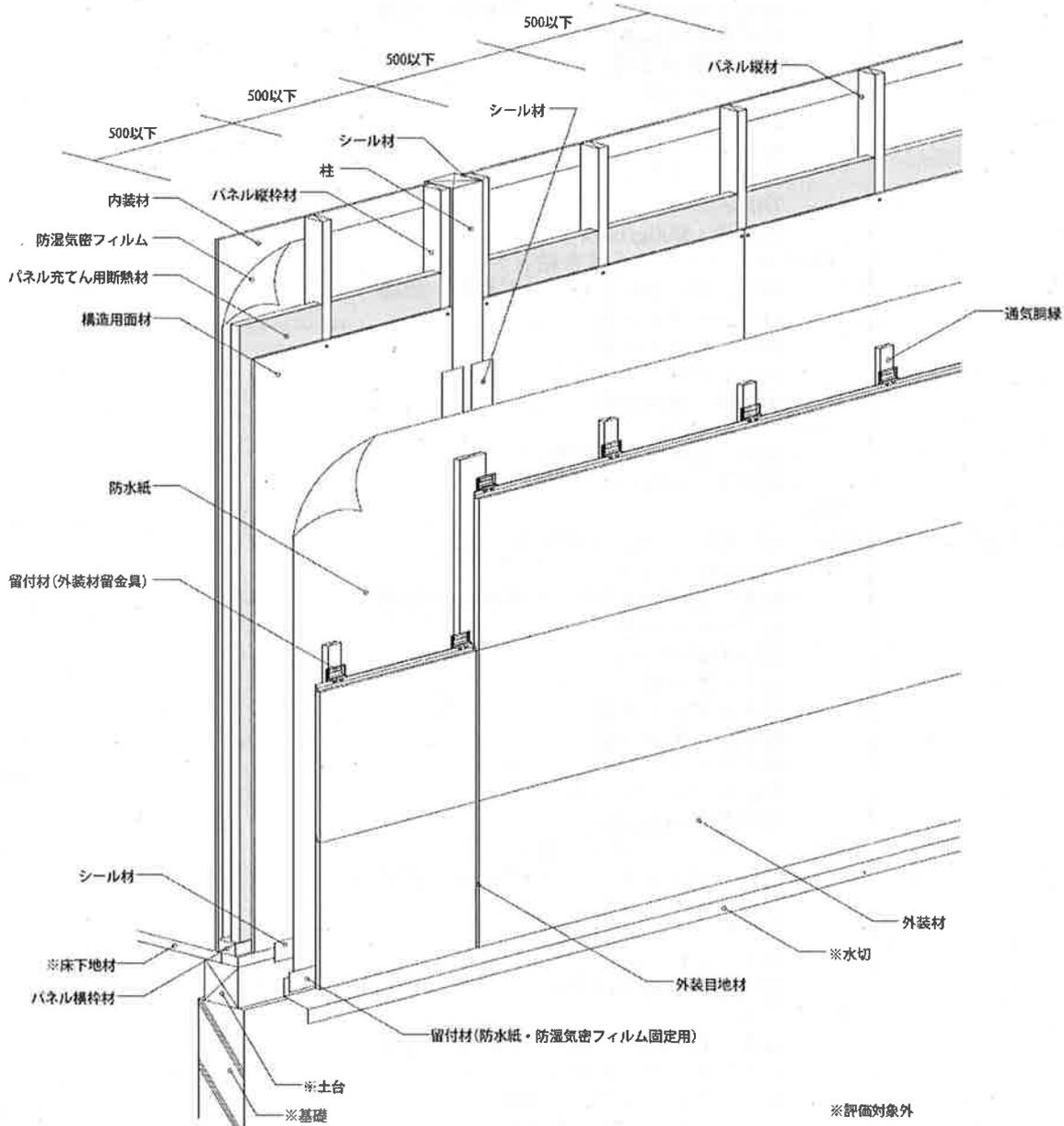
項目	申請仕様
留付材 (つづき)	<p>[8]防水紙・防湿気密フィルム固定用 材料：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：幅 9.6 以上、足長 10 以上 <p>(2) (片面・両面) 粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1)ブチルゴム系 2)EPDM ゴム系 3)アクリル系 4)アスファルト系 5)ポリエチレン系 6)ポリエステル系 7)ポリプロピレン系 ・使用量：200g/m²以下 <p>(3)アルミニウムはく付き粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエチレン系 2)ポリエステル系 3)ポリプロピレン系 ・使用量：200g/m²以下 <p>(4)スプレーのり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：合成ゴム系樹脂 ・使用量：100g/m²以下 <p>(5)なし</p>
シール材	<p>材料：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1) (片面・両面) 粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1)ブチルゴム系 2)EPDM ゴム系 3)アクリル系 4)アスファルト系 5)ポリエチレン系 6)ポリエステル系 7)ポリプロピレン系 ・使用量：115g/m 以下 <p>(2)アルミニウムはく付き粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエチレン系 2)ポリエステル系 3)ポリプロピレン系 ・使用量：115g/m 以下 <p>(3)シール材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：1)～6)のうち、いずれか一仕様 1)ポリウレタン系樹脂 2)アクリルウレタン系樹脂 3)ポリサルファイド系樹脂 4)変成ポリサルファイド系樹脂 5)シリコーン系樹脂 6)変成シリコーン系樹脂 ・使用量：100g/m 以下 <p>(4)軟質ウレタン粘着シール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 ポリウレタン系 ・厚さ 5.0以下 ・使用量 100g/m 以下 <p>(5)なし</p>

4. 構造説明図

図1～8に構造説明図を示す。

(1) 構造用面材：真壁、内装材：真壁、断熱材：充てんのみ

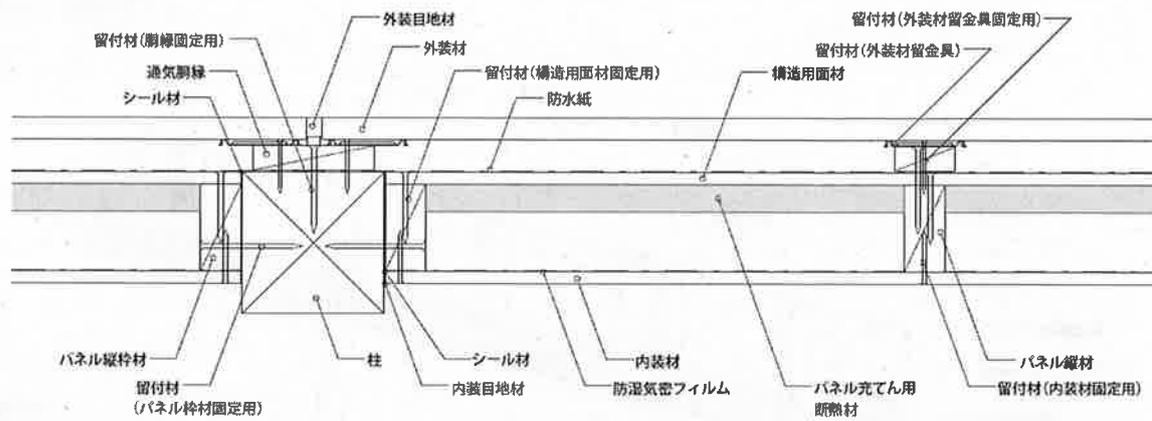
(寸法単位：mm)



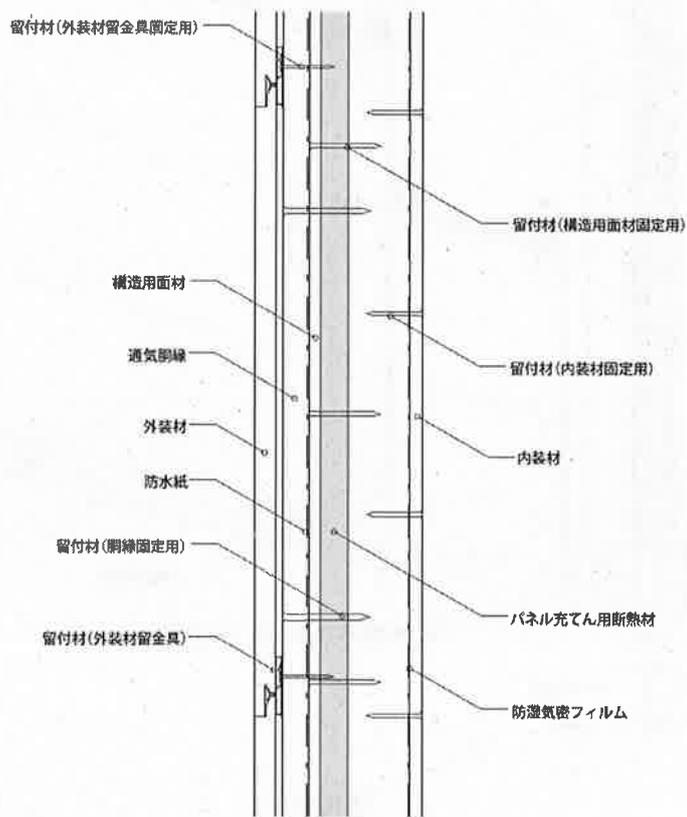
透視図

図1 構造説明図

(別添-12)



水平断面図

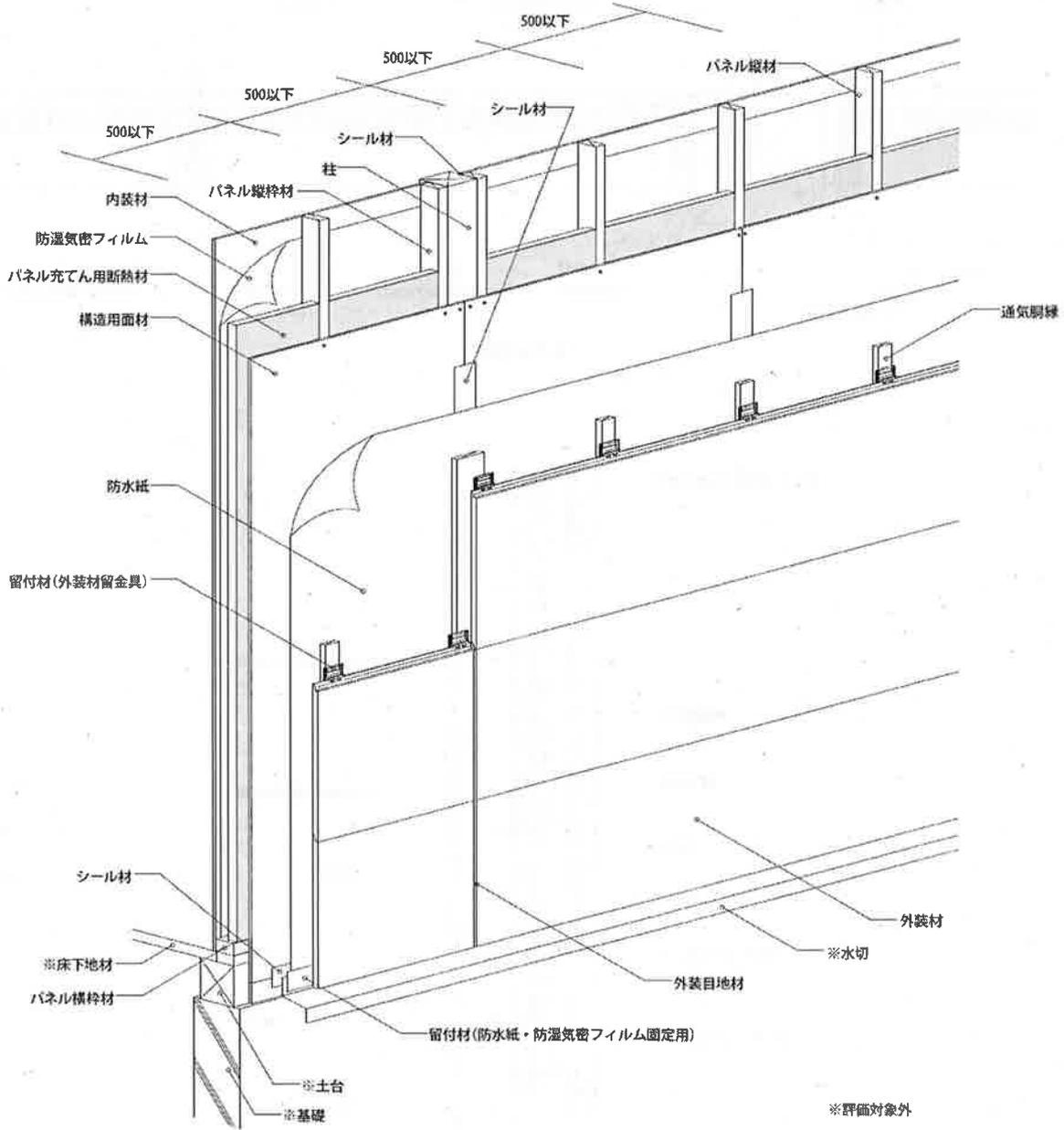


鉛直断面図

図 2 構造説明図

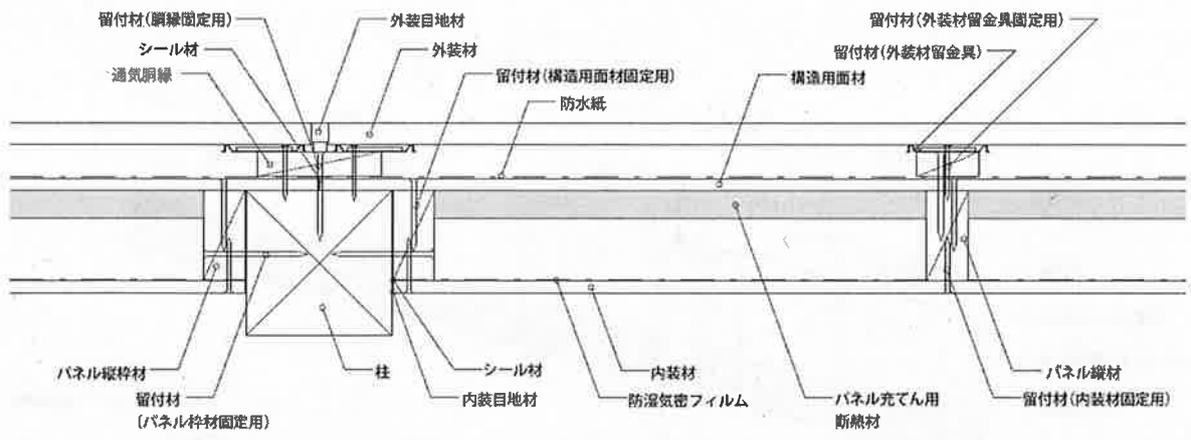
(2) 構造用面材：大壁、内装材：真壁、断熱材：充てんのみ

(寸法単位：mm)

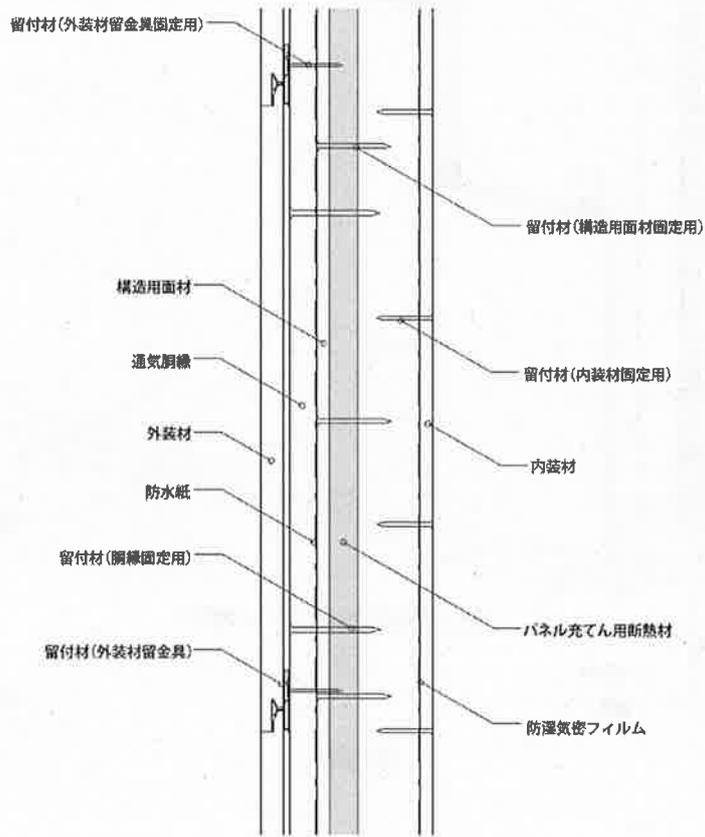


透視図

図3 構造説明図



水平断面図

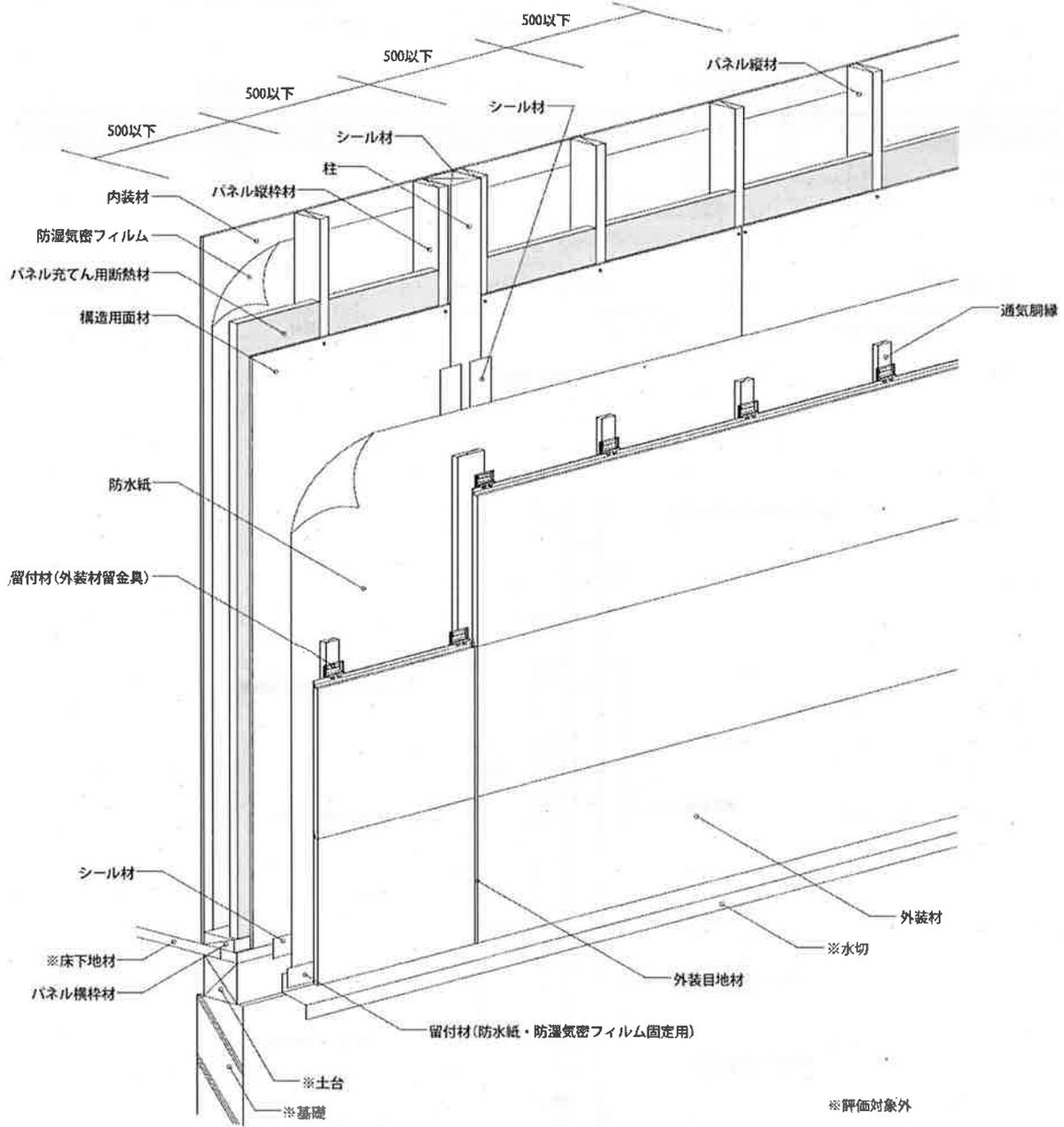


鉛直断面図

図4 構造説明図

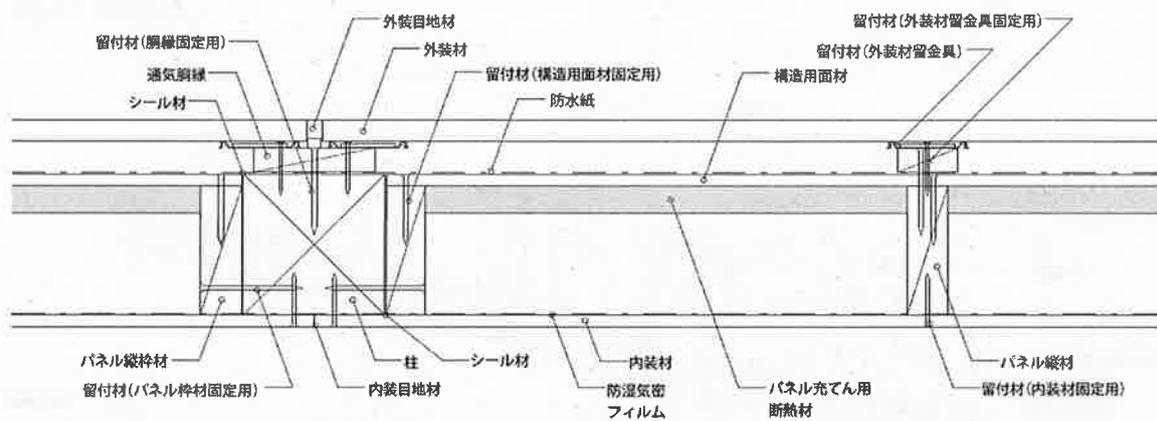
(3) 構造用面材：真壁、内装材：大壁、断熱材：充てんのみ

(寸法単位：mm)

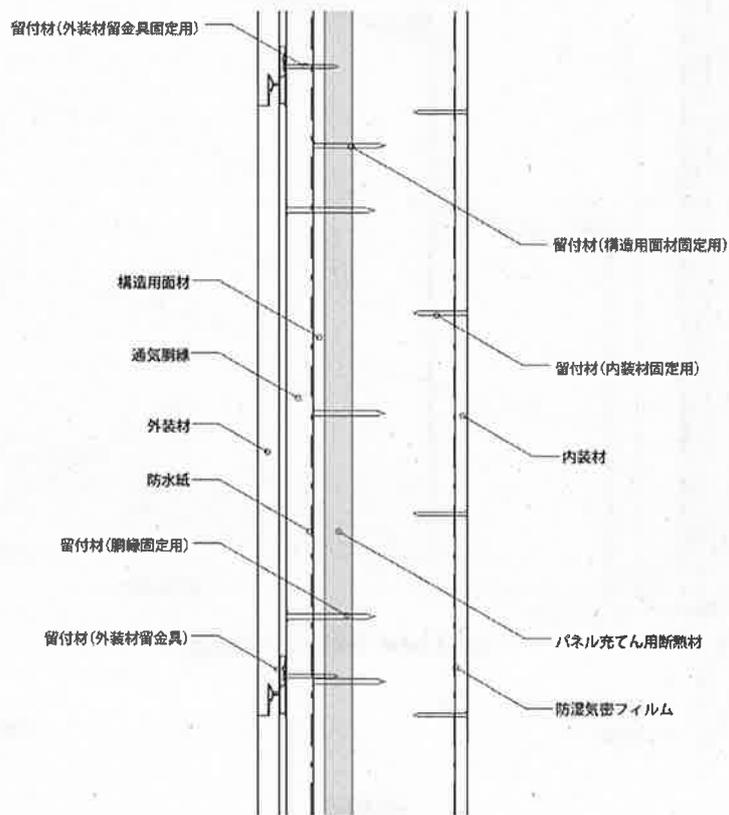


透視図

図5 構造説明図



水平断面図

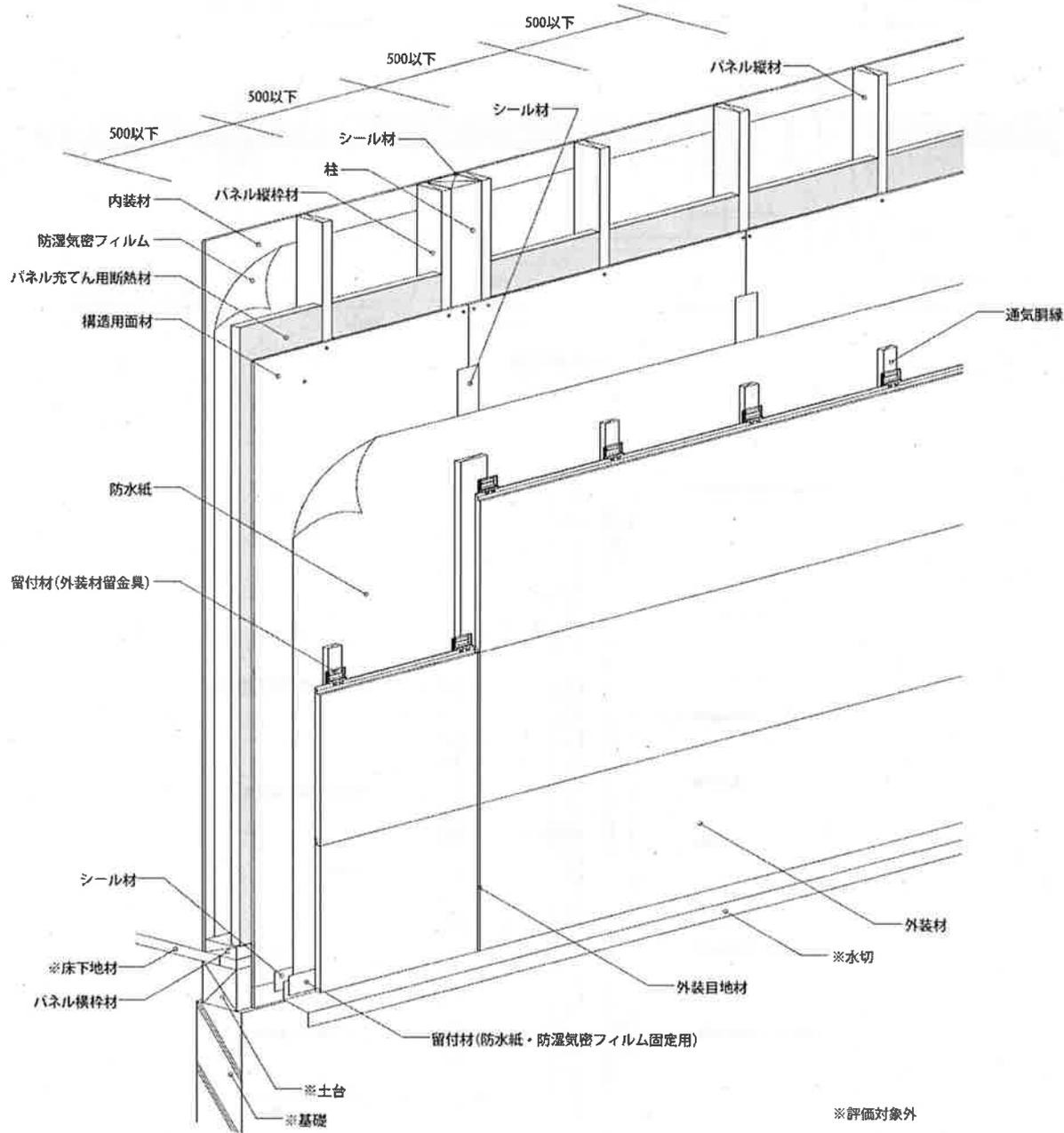


鉛直断面図

図 6 構造説明図

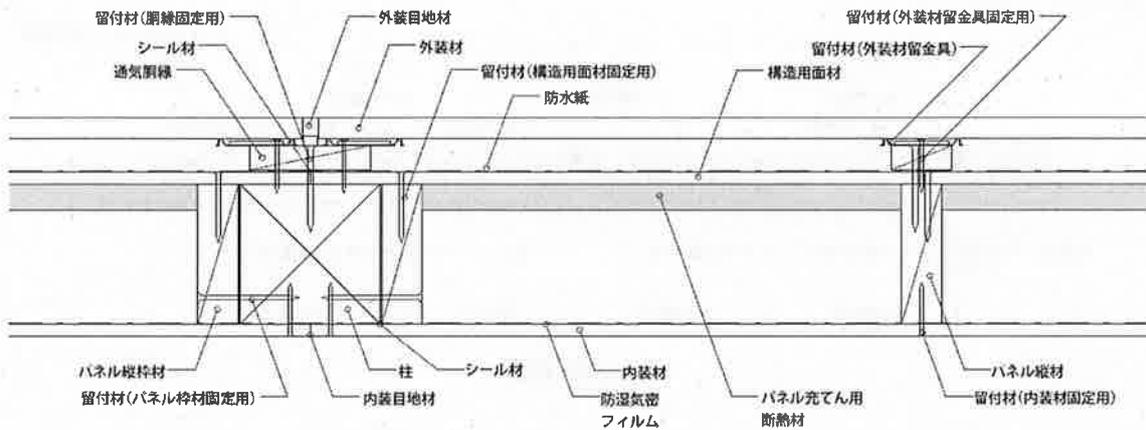
(4) 構造用面材：大壁、内装材：大壁、断熱材：充てんのみ

(寸法単位：mm)

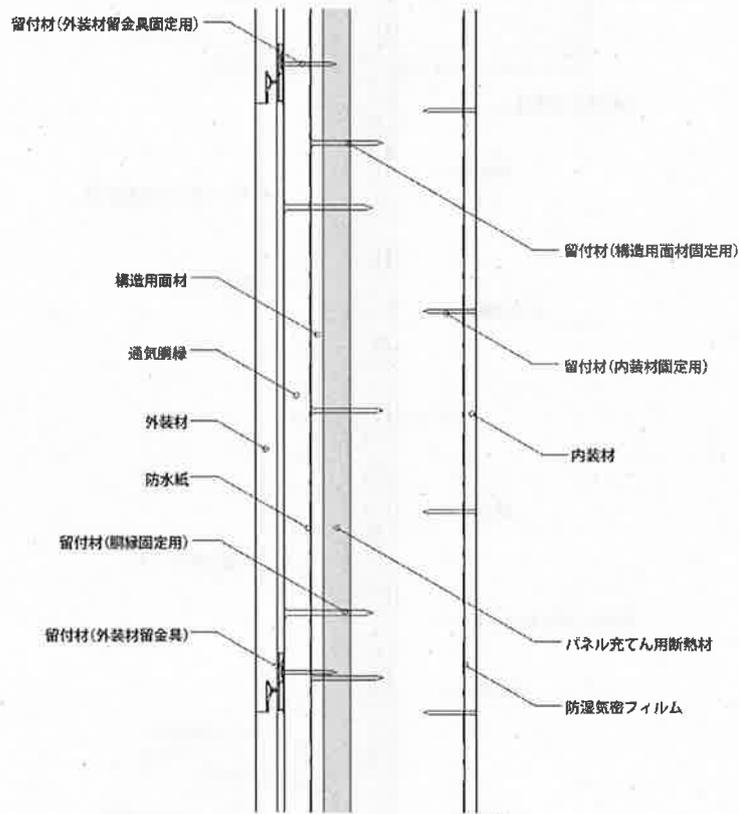


透視図

図 7 構造説明図



水平断面図



鉛直断面図

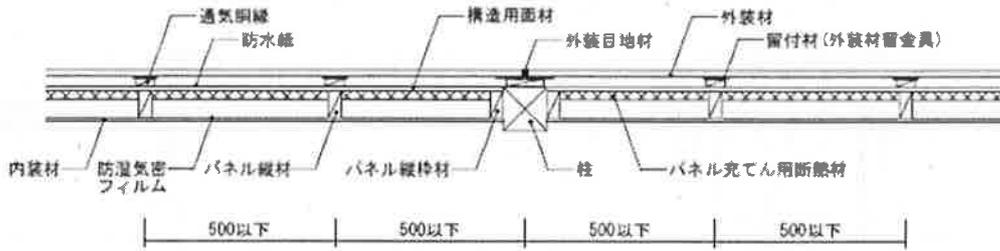
図 8 構造説明図

5. 施工方法等

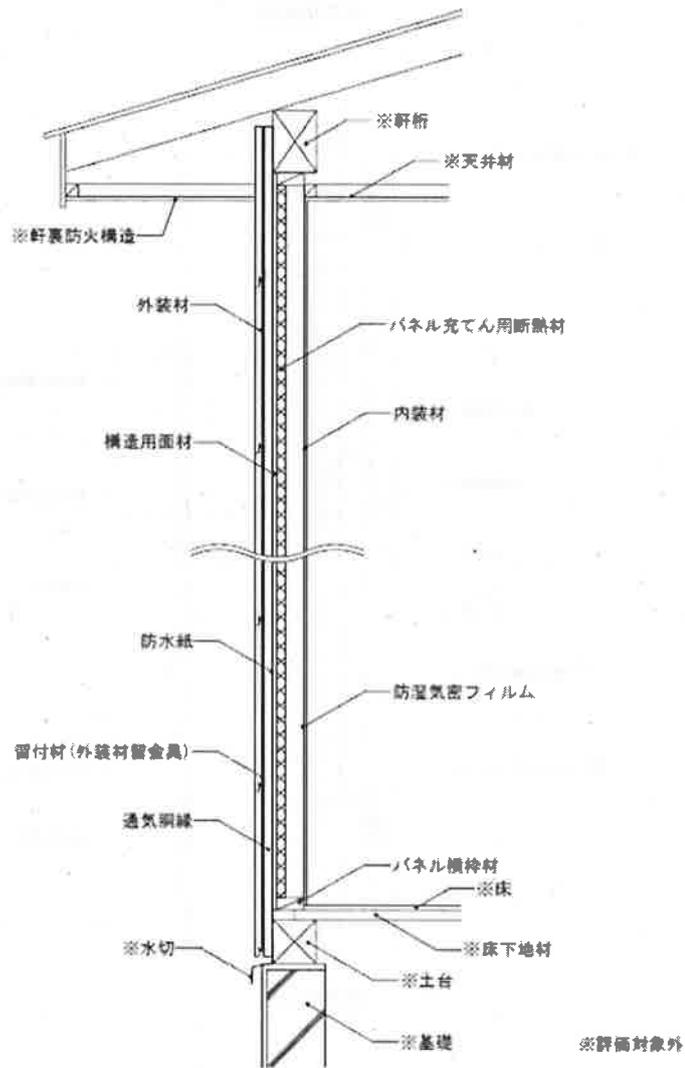
<施工図>

図9に施工図を示す。

(寸法単位：mm)



水平断面図



鉛直断面図

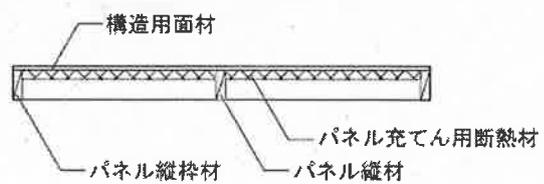
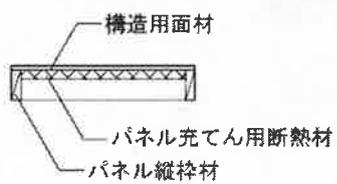
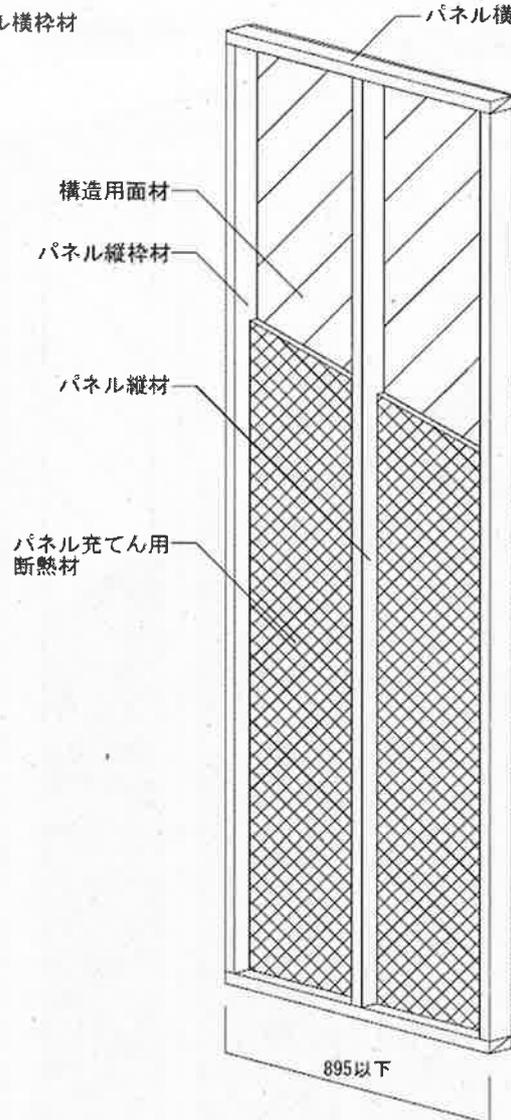
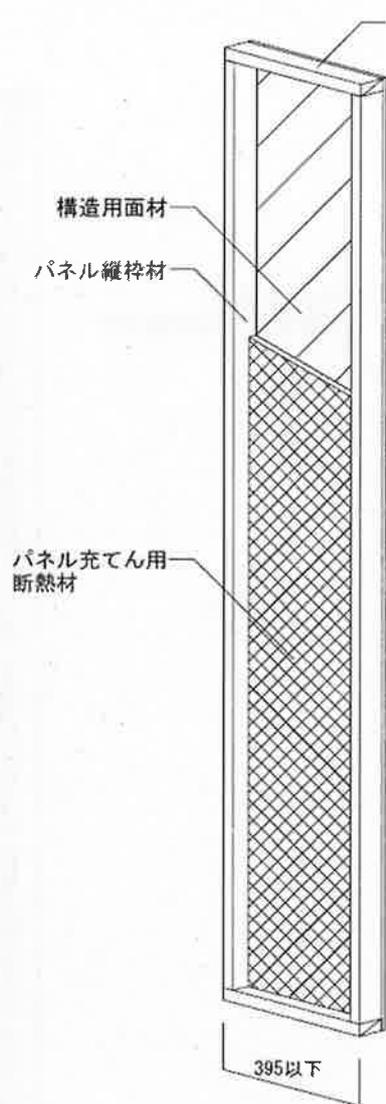
充てん断熱のみの施工例

図9 施工図

(別添-20)

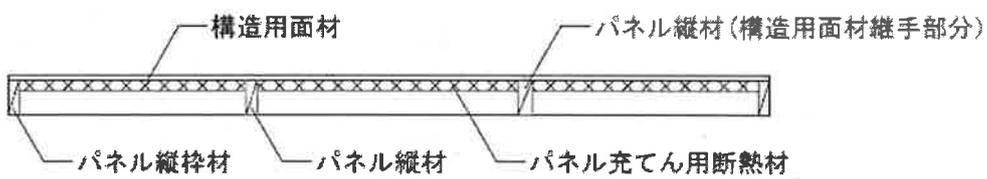
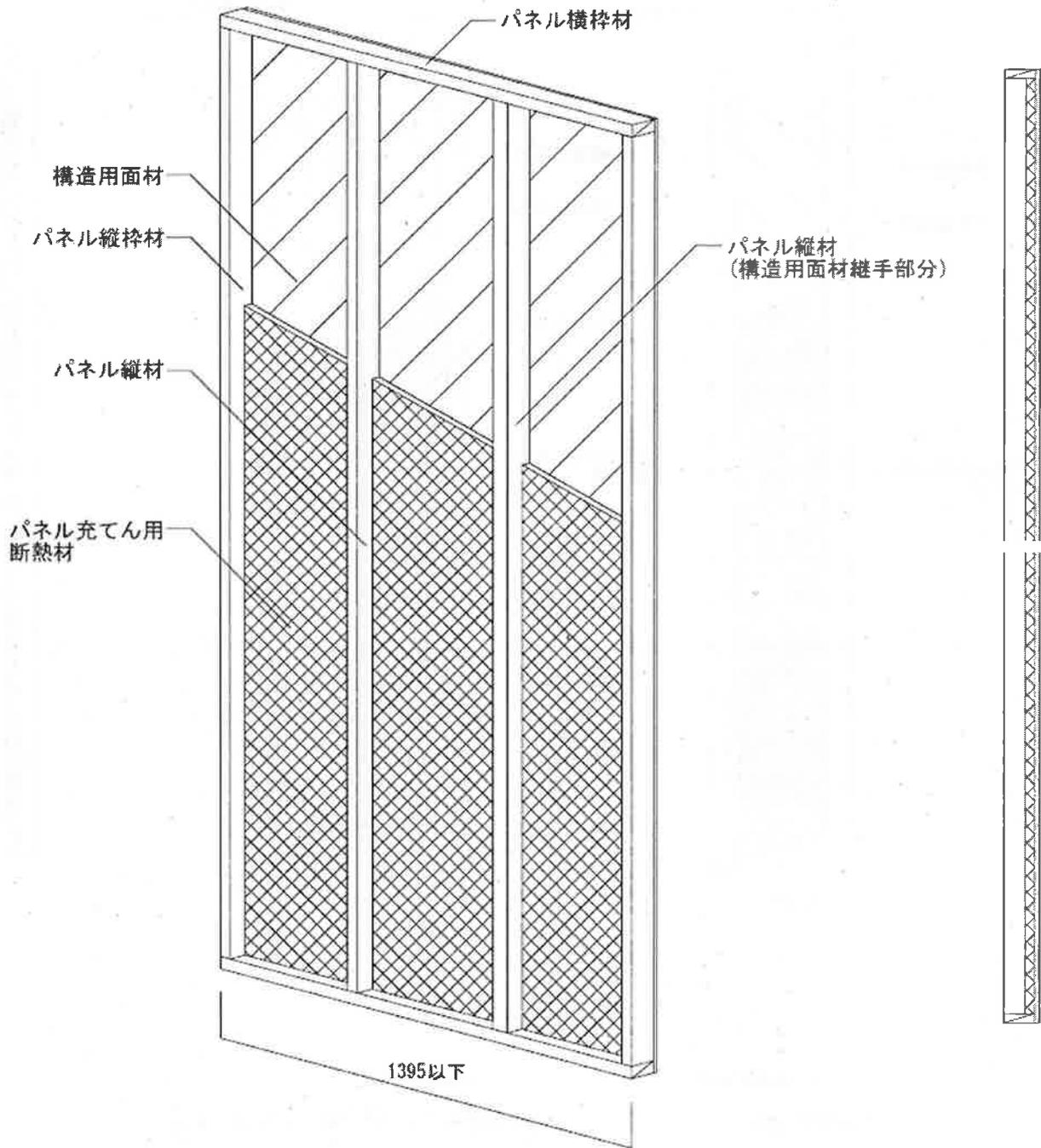
1) 柱間隔500以下

2) 柱間隔500超



(寸法単位：mm)

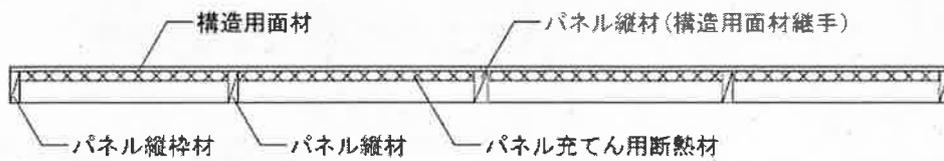
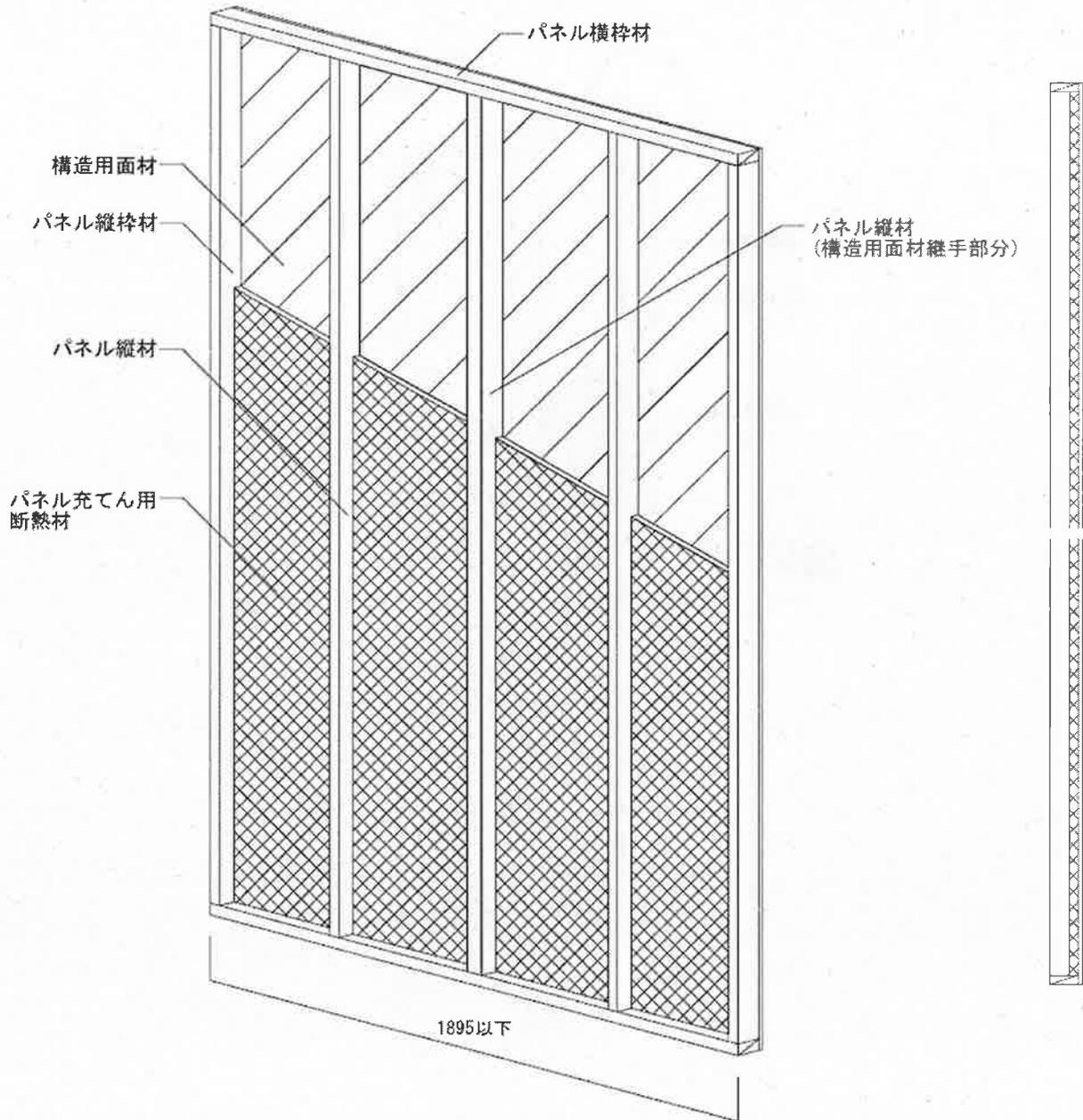
3) 柱間隔1000超



(別添-22)

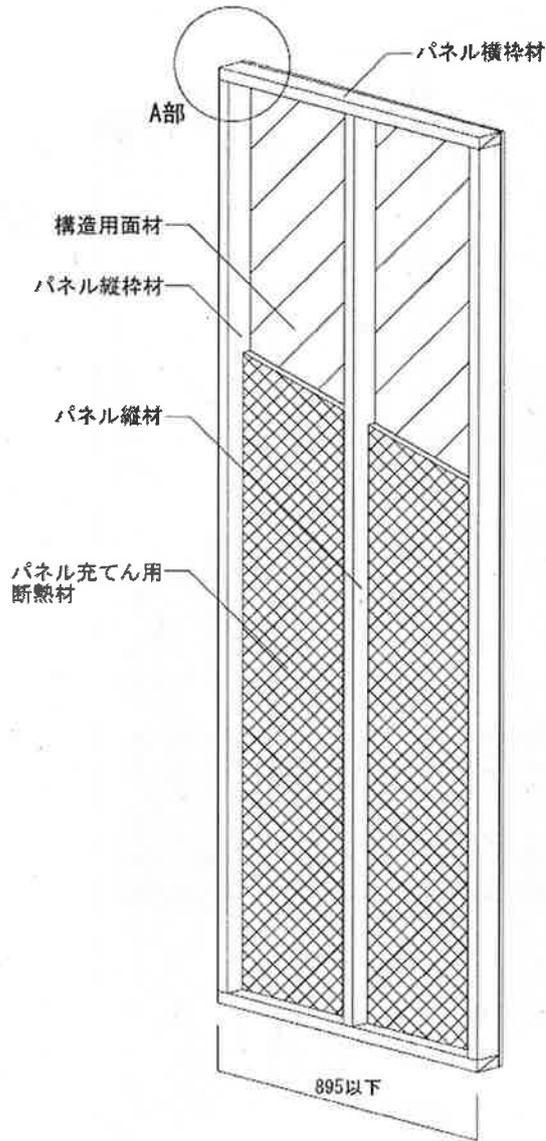
(寸法単位 : mm)

4) 柱間隔1500超

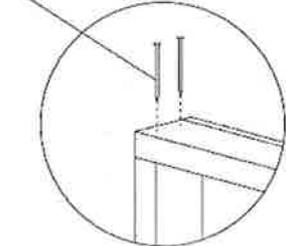


留付材(パネル縦材・縦枠材・横枠材固定用)の固定方法と
 パネル縦材・縦枠材の欠き込みによる断熱材固定方法

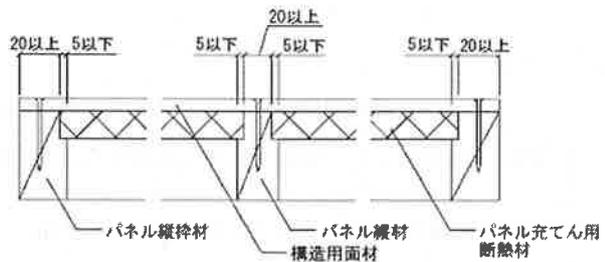
(寸法単位: mm)



留付材(パネル縦材・縦枠材・横枠材固定用)



A部詳細図



断熱パネル断面詳細図
 (パネル縦材・縦枠材の欠き込みによる断熱材固定方法)

<施工手順>

(1)下地組等

(a)又は(b)のいずれか一仕様とする。

(a)

- ①柱は、反り曲がりのないものを使用し、垂直に取り付ける。
- ②パネル縦材、縦枠材、横枠材の取付け
パネル枠材固定用留付材を用いて柱、土台等に取り付ける。
- ③構造用面材の取付け
柱、縦材、縦枠材等の上に構造用面材用留付材を用いて取り付ける。
- ④断熱材の取付け
パネル充てん用断熱材は隙間が生じないように、パネル縦材、縦枠材、横枠材間等に充てんする。

(b)

- ①工場にて、パネル縦材、縦枠材、横枠材と構造用面材、断熱材を組み合わせパネル化する。
この際、縦材、縦枠材、横枠材同士はパネル枠材固定用留付材、構造用面材は構造用面材用留付材で、パネル充てん用断熱材は断熱材仮固定用留付材で、留め付ける。
- ②壁パネルを、柱・梁・土台間等にはめ込み、パネル枠材固定用留付材で留め付ける。

(2)防湿気密フィルムを張る場合

防湿気密フィルム仮固定用留付材を用いて、たるみやしわのないように、充てん用断熱材より室内側に取り付ける。

(3)シール材を貼る場合

断熱材あるいは構造用面材の目地の上部から、剥がれないように貼る。

(4)防水紙を張る場合

横張を原則とし、所定の重ね代を確保した上で、防水紙仮固定用留付材で仮固定する。

(5)胴縁の取付け

断熱材の上に、胴縁固定用留付材を用いて取り付ける。

(6)外装材の取付け

目地にずれが生じないよう、外装材留金具、外装材留金具留付材を用いて取り付ける。

(7)内装材の取付け

内装材用留付材を用い、柱、縦材、縦枠材等に取り付ける。

